

Cas 1 関西国際空港の不法占拠

避難実施要領	
泉佐野市長 4月1日 午後2時00分現在	
市域内避難 及び 市域外避難	
1. 国または府からの避難指示の内容	
別添のとおり	
2. 事態の状況、関係機関の措置	
2-1 事態の状況	
発生時期	令和2年 4月 1日 午後1:00頃
発生場所	関西国際空港
実行の主体	国籍不明の武装集団
事案の概要と被害状況	武装集団が関西国際空港を不法占拠 現在のところ負傷者は出ていないが、武装集団の目的等は不明
今後の予測・影響と措置	現在のところ動きはないが、衝突による被害の可能性あり。 関西国際空港内の滞在者については、国等の指示のもと避難措置を行う。
気象の状況	天候：晴れのち曇り 気温：17℃ 風向：東 風速：2m/s
2-2 避難住民の誘導の概要	
要避難地域	関西国際空港
避難先と避難誘導の方針	<ul style="list-style-type: none"> 空港内滞在者について、空港事業者及び国等の指示のもと、関西国際空港から避難する者をりんくうタウン駅周辺にて受入れ、泉佐野市がりんくうタウンを避難誘導拠点として避難誘導を行う。 りんくうタウン駅周辺一帯を、避難誘導を行う「避難誘導拠点」として指定する。
避難開始日時	午後2時00分
避難完了予定日時	午後4時30分
2-3 関係機関の措置等	
措置の概要	<p>警察及び泉佐野市：①要避難地域から避難してきた者を避難誘導する ②連絡橋の通行止め等、交通規制を行う</p> <p>公共交通事業者：①避難誘導拠点からピストンで各所へ送り出す ②関西国際空港への運行を停止する</p>
連絡調整先	<p>府対策本部：市職員を2名派遣</p> <p>現地調整所：市職員を5名派遣</p> <p>避難所：市職員を各2名以上派遣</p> <p>要所：交差点、大規模商業施設等に市職員を各2名以上配置</p>
3. 事態等の特性で留意すべき事項	
事態の特性（除染の必要性等）	武装集団の行動等が不明だが、現時点で化学兵器を用いた攻撃を行う様子はないため、特殊な対応は想定しない
地域の特性	孤島での事態発生のため、各自で避難するのではなく、空港事業者及び国等の指示に従い、避難行動をとるように促す。
時期による特性	日中の人々が集中する時間帯であることに留意する。

Cas 1 関西国際空港の不法占拠

避難実施要領				
				泉佐野市長
				4月1日 午後2時00分現在
市域内避難 及び 市域外避難				
4. 避難者数（単位：人）				
地区名	関西国際空港内	—	—	合計
避難者数（計）	約 人	—	—	約 人
うち要配慮者数	—	—	—	—
うち外国人等の数	—	—	—	—
5. 避難施設				
5-1 避難施設				
避難先地域	—	—	—	
避難施設名	—	—	—	
所在地	—	—	—	
連絡先（電話等）	—	—	—	
連絡担当者	—	—	—	
その他の留意事項等	—	—	—	
5-2 一時集合場所				
一時集合場所名	りんくうタウン駅周辺			
所在地	りんくう往来北、りんくう往来南 ほか			
連絡先（電話等）	—			
連絡担当者	—			
その他の留意事項等	—			
6. 避難手段				
輸送手段	鉄道・バス・船舶・徒歩・その他（要配慮者用車両）			
輸送手段の詳細	種類（車種等）	<ul style="list-style-type: none"> 要避難地域から ：空港事業者及び国等が指定する交通手段により、避難誘導拠点まで輸送する。 避難誘導拠点から ：市が手配したバス等により、順次ピストンにて各所へ輸送する。 		
	台数	—		
	輸送可能人数	バス：50人/台 市車両：4人/台		
	連絡先	—		
輸送力の配分の考え方	—			
その他輸送手段	要援護者	自力で避難することが困難な者に対しては、福祉車両による輸送を行う。		
	その他（入院患者等）	—		

Cas 1 関西国際空港の不法占拠

避難実施要領			
			泉佐野市長 4月1日 午後2時00分現在
市域内避難 及び 市域外避難			
7. 避難経路			
避難に使用する経路		別添のとおり	
交通規制	実施者の確認	泉佐野警察署、市職員	
	規制にあたる人数	5～10人程度	
	規制場所	事態発生現場に立ち入ることがないように、警察は関西空港連絡橋を入口付近にて交通規制を行う。 市職員は、避難誘導拠点での円滑な避難誘導を行うため、バスの発着所付近の交通規制を行う。	
警備体制	実施者の確認	泉佐野警察署	
	規制にあたる人数	20人程度	
	規制場所	交通規制実施箇所等にて警備を行う。 ただし、長時間にわたり事態が沈静化しない場合は、専門的な装備を有する他機関に措置を要請する。	
8. 避難誘導方法			
8-1 避難（輸送）方法			
地区		関西国際空港	りんくうタウン駅周辺
一時集合場所への避難方法	誘導の実施単位	空港内滞在者	—
	輸送手段	バス、電車、船舶等	—
	避難先	りんくうタウン駅周辺 (避難誘導拠点)	—
	集合時間	順次	—
	その他(誘導責任者等)	誘導責任者：空港事業者及び国等	—
避難施設への避難方法	誘導の実施単位	—	関西国際空港（要避難地域）より輸送された避難者
	輸送手段	—	民間バス、電車
	避難経路	—	手配したバス及び電車にて、ピストン輸送の妨げにならないルートで各所へ輸送
	避難先	—	事態収束後の滞留希望者は、末広公園、佐野中学校へ輸送
	避難完了予定日時	—	順次
	その他(誘導責任者等)	—	誘導責任者：泉佐野市
要配慮者等の避難方法	誘導の実施単位	避難行動要支援者避難行動支援プランに基づき、設定される者	
	要配慮者への支援事項	要配慮者の区分に応じた対応を実施	
	輸送手段	福祉車両による輸送	

Cas 1 関西国際空港の不法占拠

避難実施要領		
泉佐野市長 4月1日 午後2時00分現在		
市域内避難 及び 市域外避難		
	避難経路	ピストン輸送の妨げにならないルートで各所へ輸送
	避難先	—
	避難開始日時	順次
	避難完了予定日時	順次
8-2 職員の配置方法		
配置場所	避難時の主要交差点 6 名 (3 箇所×2 名)、りんくうタウン駅 2 名、避難所 4~10 名 (2 箇所×2~5 名)	
人数	最大 20 名弱	
現地調整所	連絡要員として 5 名配置	
8-3 残留者の確認方法		
確認者	市職員	
時期	4月1日 午後4時00分頃~	
場所	りんくうタウン駅周辺	
方法	広報車及び防災行政無線による呼びかけ	
措置	残留者に対して、直ちに市誘導のもと各所へ避難するように呼びかける。	
終了予定日時	4月1日 午後5時30分頃	
8-4 避難誘導時の食糧の支援・提供方法		
食事時期	(避難誘導時は提供せずに、避難先施設にて必要に応じて提供する)	
食事場所	—	
提供する食事の種類	—	
実施担当部署	—	
8-5 追加情報の伝達方法		
避難誘導員による連絡、防災行政無線、広報車等により行う		
9. 避難時の留意事項 (主に住民)		
避難する場合の留意事項		
基本事項		
避難者同士で声をかけあい、自助・共助の精神のもと避難する。		
服装や携行品等から不審者と判断されるものを発見した場合には、市対策本部、消防本部、警察署に通報する。		
事態の特性		
武装集団の目的が不明のため、衝突が起こらないような行動をする必要がある。		
時期の特性		
新年度であることから、土地勘がない滞在者も多いことが予測される。		
一時集合場所での対応		
避難者同士で声をかけあい、自助・共助の精神のもと避難する。		
市職員の誘導のもと、勝手な行動は慎む。		

